

第 8 回グローバル COE 主催ワークショップ(ユニットA)

「子供を育てることの普遍性と特殊性～文化と進化とこころの未来(2)」

(日本心理学会第 73 回大会ワークショップ)

日 時:2009 年 8 月 28 日(金)12 時 30 分～14 時 30 分

場 所:立命館大学衣笠キャンパス清心館 534

タイトル:「子供を育てることの普遍性と特殊性～文化と進化とこころの未来(2)」

学会の行事であり、日本心理学会会員向けのものですが、ご案内申し上げます。

■企画者

平石 界 京都大学こころの未来研究センター

内田由紀子 京都大学こころの未来研究センター

■話題提供者

柿沼美紀 日本獣医生命科学大学

沢山美果子 岡山大学大学院社会文化科学研究科

柏木恵子 東京女子大学

■指定討論者

平石 界 京都大学こころの未来研究センター

内田由紀子 京都大学こころの未来研究センター

■アブストラクト

子どもを産み育てるといふ営みは、人類以前から止むことなく続いてきたものである。そこには霊長類やその他の動物とも共通する普遍的な面もあれば、ヒトだけに特徴的な面、そして時代や文化によって変化してきた面があるだろう。話題提供者の柏木と柿沼は、現代に生きる人間やチンパンジーなどの「子育て」の実証データから、子育てを形作る普遍性や文化特殊性について検討を行ってきた。また沢山は江戸時代の人々の子産み・子育てと、その背後にある「いのち」の問題を研究している。このような視点からは、同じ日本という土地に暮らした我々の遺伝的祖先である江戸の人たちが持つ共通性と、現代とは異なる文化的要素の双方が、子育てに与える影響を知ることが可能であろう。三名の研究者の報告を軸に、「子育て」にまつわる人間心理の普遍性と特殊性、そして文化による差異を検討する。生物が生物であるためのもっとも基本的な「生殖」という命をつなぐ行為において、人間性が、いかに柔軟に変化するのか、そして変化しない要素は何であるのかを考えたい。